

所のたより

神奈川県第二宗務所

発行所

神奈川県横浜市神奈川区台町3-1

本覚寺会館内

曹洞宗神奈川県第2宗務所

電話 045(322)2417

FAX 045(322)2418

<http://sotokana2.sakura.ne.jp>

Email:soto.kana2@gmail.com

所長ご挨拶

所長 龍昌院住職

石澤 昭信



宗務所管内御寺院様をはじめ御家族様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、宗務所をお預かりして最終年を迎えております。顧みますと令和二年、令和三年度の宗務所事業運営は新型コロナウイルス流行の影響を受けほとんどの行事が中止となつてしまいました。その中で令和四年に入り三月末の予算所会を開催する事が出来、管内御寺院皆様へ予算事業計画等

をご報告することが出来ましたが、本年度もすでに計画の変更を余儀なくされております。四月には梅花講長会と詠範会総会は開催する事が出来ましたが寺族会総会、婦人会総会は書面決議となりました。六月には人権擁護推進委員会、決算納入所会を開催致しました。宗務所主催梅花流檀信徒講習会は中止となりました。梅花流特派講習会も中止の予定でしたが、多くの方々の要望があり開催の運びとなりました。梅花流宗務所検定会と秋の梅花流管内大会も開催の予定で御座います。八月に予定の現職研修会からの後期事業につきましては、その時々

状をふまえて計画しております。ます事業が無事に開催できますよう務めて参ります。何卒今後ともご助力、ご支援のほどお願い申し上げます。

ますと共に皆さまお身体を。ご自愛くださいますようお祈り申し上げ一言と致します。

暑中お見舞い
申し上げます

宗務所職員

- 所長 石澤 昭信
- 副所長 梅田 保彦
- 教化主事 加藤 泰俊
- 庶務主事 鈴木 浩之
- 梅花主事 香渡 規玄
- 人権擁護推進主事 喜田 孝彦
- 書記 中野 琢哉
- 書記 大溪 俊将
- 書記 小林 大樹



ご挨拶

宗議会議員 普門寺住職 砂越 隆侃



各御寺院様におかれましては、様々な諸問題、諸案件を抱えながら、寺院護持と各種法要などをすすめられて居られる事と拝察申し上げます。

さて、私の議員活動の一端として、お知らせとお願いがございます。

議会開催中における質問提出のことで、質問には通告質問と文書質問の二通りがございます。私は文書質問について、各御寺院様よりは是非ご理解とご協力を頂きたいと存じております。

日頃、宗門に対してお気付きの点(ご質問、ご意見、ご提案等々)をお持ちの方々に、その通達方法をご紹介致したく存じます。簡条書きにまとめてみたいと存じます。

一、ご質問は文章にして、私までお願いします。

二、原稿には「地域寺院からご意見がありますので、次の質問にお答え願います。」と註釈をした上で、提出者のお名前は無記名とさせて頂き、私の議会中における文書質問とさせていただきます。

三、回答については、議会中の回答結果を受け、後に宗報の議会報告に掲載される事となり、ご意見は反映されます。無記名での質問となることは、提出手段であるためご理解願います。

あくまで私からの文書質問という形となります。因みに、同僚である服部議員の質問は、通告質問であります。通告質問についても、回答方法は同一であります。来期本議会では、皆様から寄せられたご意見・ご提案を文書質問として中央にお届け出来ますよう、切望致す所であり

ます。説明内容不十分な所があると存じますが、ご不明な点がございましたらご一報頂ければ幸甚に存じます。社会は未だ不安定な日々が続いておりますが、管内御寺院様におかれましてはご健康には十分ご自愛頂き、ご活躍ご繁栄を願ひ結びと致します。

びと致します。

ご挨拶

宗議会議員 宗三寺住職 服部 直哉



神奈川県第二宗務所御寺院御尊長老師並びに御寺族・関係各位の皆様には御清祥のこと御慶び申し上げます。

新型コロナウイルス蔓延より2年が経ちましたが皆様は如何お過ごしでしょうか。

私自身も昨年5月に新型感染症の陽性となり念の為に入院致しましたが、お陰様で無症状で退院に至る事となりました。

その後ワクチンも2回接種して一安心し、日本国内に於いても感染者数の著しい現象が見られる中、昨年末よりオミクロン株という新しいエアロゾル・市中感染が高い変異株の出現により多くの方々の心配は、計り知れないものであるかと思われ

ます。皆様の更なる健康への御留意をお祈り申し上げます。

さて、昨今の日々の生活の変わり方は著しく変化しているのが現状であり寺院と檀信徒との関係性も希薄になりつつあります。しかしながら各御寺院方の様々な努力や工夫により寺檀の関係を一層深めて頂いている事に大変共感し、一宗門人として感謝致しております。

曹洞宗包括法人(曹洞宗宗務庁)に於いては様々な決議事項を文書決議や事後報告といった事で済ませてしまうという有様で、県内寺院の立法府への御推輓を賜り本来であるならば、改善、提言を発信しなければならぬ立場でありながら通告による質問のみしか発言の場が無い事に憤りを感じつつ宗議会に臨んでおります。また中々答弁も納得致しかねる内容であり、場当たり的な杓子定規な答弁の様

に感じられております。ここにきて、新型感染症蔓延も終息に近付き、ウイズコロナと言う新しい形での生活と共に宗務行政も在り方を変える時となっており。大きな組織であるが故に全体的に中々前進す

る事は困難であるかと思われませんが管内宗務所との連携を取り身近な事柄から一つ一つ解決を望む様、微力ながら発信して行きたいと思っております。

どんな些細な事でも、ご遠慮なく御相談、御提言賜れば出来る範囲となりますが沢山の改善・改革に勤しんで行きたいと思っておりますので皆様の御教導賜りたく存じます。

最後になりますが昨年の両大本山貫首大禅師猊下の御遷化に際し曹洞宗寺院及び檀信徒の皆様からの御厚情に感謝すると共に両大本山貫首大禅師猊下の法体堅固を祈念いたします。

また、本年4月9日に予定されておりました大本山總持寺慶弔会におきましても、山内並びに関係各位の新型感染症における蔓延を防止する為、延期となりましたが、その事を決断されました、紫雲墓下並びに山内所要の方々におかれましては断腸の思いとは思われますが御英断なされた事に感謝と敬意を表する思いです。

また改めまして諸行事が厳修されますので、それまでには新型感染症の終息する事を祈念申し上げます。

コロナ禍において…

第一教区 西有寺住職

青年同志会 会長 勝川 孝一



皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。私、昨年五月より

神奈川第二宗務所青年同志会の会長をさせて頂いております。西有寺の勝川孝一と申します。皆様におかれましては平素より青年同志会の活動に対し、ご支援ご助力を賜りまして誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

就任してより約一年が過ぎ任期の半分が終わろうとしておりますが、コロナウイルスの流行に伴いまともな活動も出来ず役員数人で集まり今後の予定等を相談する

ばかりで、全ての行事を中止せざるを得ない状況が続いております。しかしながら今期は60周年という記念の期でございます。このような状況下だからこそ出来ることがあるのではないかと事務局一同、思案しているところでございます。

扱、2020年1月に新型コロナウイルスの流行が始まり2年以上の月日が経過致しました。この影響により多くの方がお亡くなりになり、また多数の方が苦しい生活を強いられております。寺院においても様々な影響があり、日々ご苦労されていることと存じますが、このような状況下だからこそ寺院として一僧侶として檀信徒をはじめ世間の皆様方に寄り添っていかねばならないと感じております。昨

今、寺は敷居が高いとか寺離れと言われ檀家、一般の方々との関係が薄れてきているようにございます。新型コロナウイルスの影響によりこれが加速してしまわぬよう…少しでも多くの皆様に寄り添いお寺は人が集まる場所であり、心の安寧を求められる場所であるということが理解していただくことが大切ではないかと思えます。一寺院として出来ることは

限られるかもしれませんが、ですが小さなことでも始めて進んでいけば、それが縁を呼び段々と大きな円になり、更なる縁を呼び込んでくると思えます。コロナウイルスの流行が障害になつていないことは間違いのないことですが、この障害を乗り越えた際に現状を保っているのではなく、1歩でも2歩でも先に進んでいられるよう私自身も精進していく所存です。青年同志会においてもこのような状況下だからこそ会

としての活動のみに限らず、一般の方を交えた活動も精力的に行っていければと考えております。それがコロナ禍の中で迎えた60周年という記念の期の責務ではないかと思えます。この任にあたり

事務局一同、青年同志会の更なる発展に向け邁進してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。末筆になりましたが皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。



この一年

第八教区 龍昌院寺族 神奈川県第二宗務所

寺族会会長 石澤 博美

平素より寺族会に對しましてご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。令和二年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で、残念ながら令和三年度も寺族会の諸行事はすべて中止となりました。

一進一退を繰り返す現状ですが、その中でも東京、北京で開催されたオリンピック・パラリンピックは生活に明るさをもたらしてくれたと感じます。平時であっても非常に厳しいトレーニングを積み重ね心身を鍛え続けて来たアスリート達ですが、コロナ禍にあつては通常の競技活動を継続することが難しかったと報じられています。感染拡大の恐れや医療崩壊を危惧する立場から、世論では開催について賛否両論があつたことが伝えられ、

リモート講習会を開く!!

第八教区 鳳勝寺寺族

詠範会会長 山下 知子

新型コロナウイルスは何度も変異が繰り返され、三度目のコロナ禍の春を迎える事となつてしまいました。この間、詠範会の活動の柱である講習会もなかなか開催出来ず、計画しては断念を繰り返してまいりました。

そんな中、役員の中から「リモート講習会は？」の声が上がりました。最初、大勢でやるにはハードルが高いかなと思つていながら模索する中で御縁があつて五教区花應院住職山本老師と八教区報恩寺住職加藤老師に沢山のアドバイスを御指導を頂くことが出来、何とか実現出来る運びとなりました。三月二日当日は二十五人の参加者と共に午前中はQRコードかURLの読み込み等接続の練習をして午後一

においてハードル高かつた。途中五分でも休憩が欲しかった。(先生が何も飲んでいないのに自分だけ水分補給しにくかつた)

○リモート講習会の試みは斬新で大成功だつた。この感想を頂きました。

ここに改めて講師を引き受けて下さつた片岡師範、立ち上げに御協力頂いた山本老師、加藤老師に心より御礼申し上げます。

三度目のワクチン接種も進んでいます。事態がどのようになつていくのかまだ先が見えません。

このコロナ禍の中で、これからの「会」のあり方を考えるきっかけになり、今回の経験を将来に生かす自信がついたように思います。

それでもリモート講習より、一日も早くコロナが治まり安全、安心して皆様と直接元氣にお会いできる日を楽しみにしています。

令和四年春彼岸

合掌

合掌

〈婦人会からのご報告〉

曹洞宗神奈川県第二宗務所 婦人会会長 菅原陽子
役員一同

宗務所館内の皆様には、日頃より婦人会活動へのご理解ご協力を賜りありがとうございます。コロナの問題はなかなか収まらず、皆様も日頃の活動にご苦労が多いことと存じます。

婦人会では、「各寺院の活動」と「婦人会として参加してみたいこと」と「絵本を送る活動の実施の可否」の3点についてアンケートを実施しましたが、今回はその結果等について報告させていただきます。

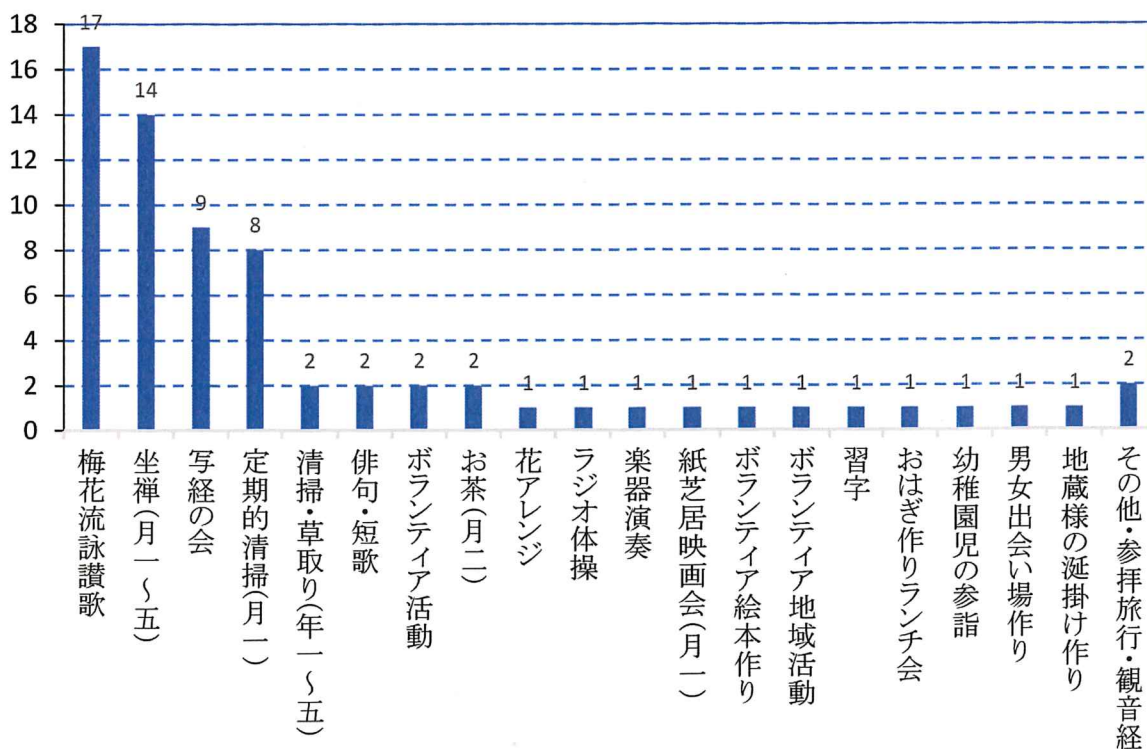
婦人会アンケート集計結果

※令和3年6月アンケート実施、32カ寺中26カ寺の回答結果
(アンケート集計・絵本を届ける活動担当 副会長 森田暢子)

I. 各寺院の活動

日頃、檀信徒さん(檀信徒さん以外の一般の方も含む)が活動していることにどんなことがあるでしょうか？

現在の活動内容	寺院合計
梅花流詠讃歌	17
坐禅(月一〜五)	14
写経の会	9
定期的清掃(月一)	8
清掃・草取り(年一〜五)	2
俳句・短歌	2
ボランティア活動	2
お茶(月二)	2
花アレンジ	1
ラジオ体操	1
楽器演奏	1
紙芝居映画会(月一)	1
ボランティア絵本作り	1
ボランティア地域活動	1
習字	1
おはぎ作りランチ会	1
幼稚園児の参詣	1
男女出合い場作り	1
地藏様の涎掛け作り	1
その他・参拝旅行・観音経	2



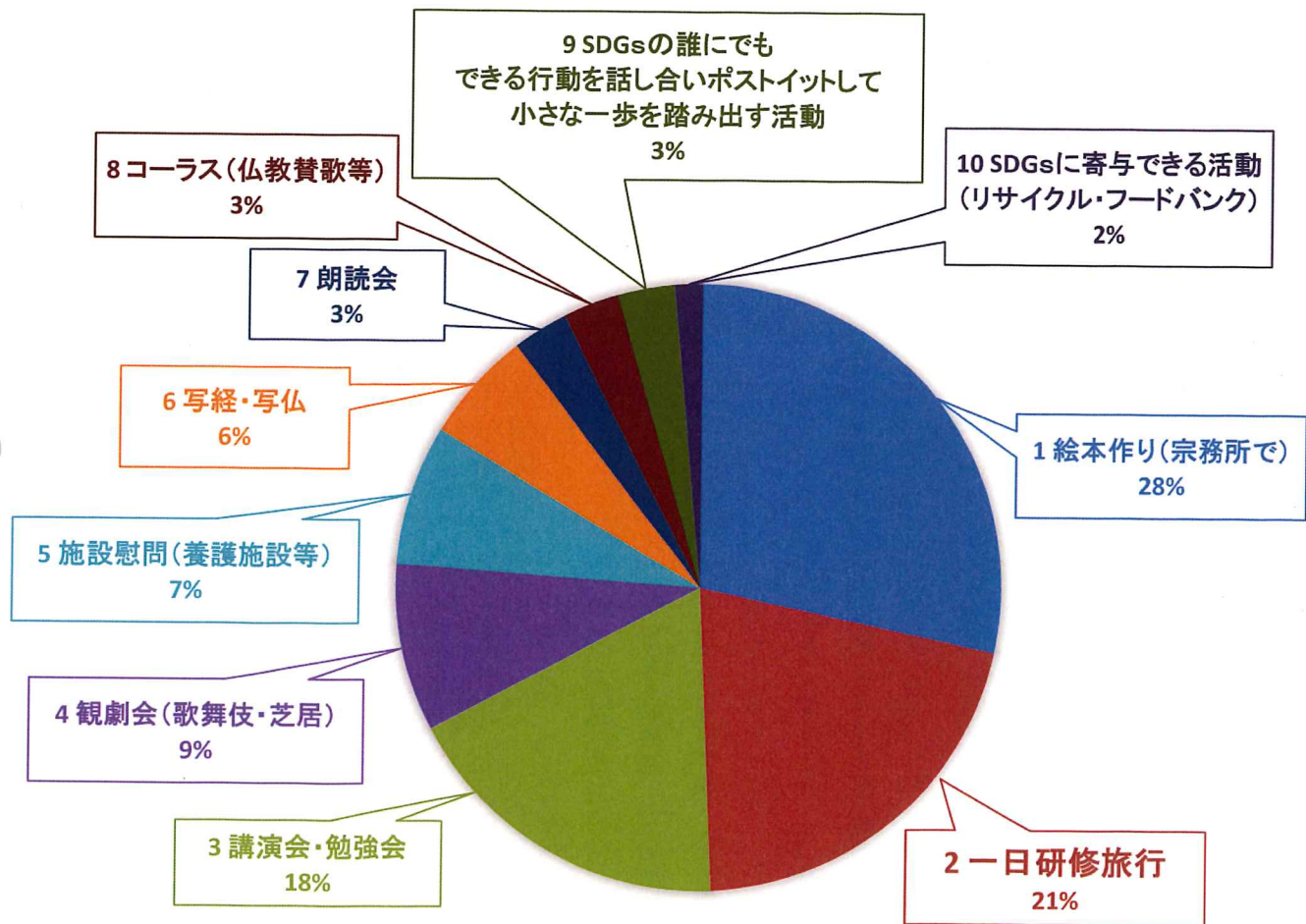
◎梅花流詠讃歌、座禅会、写経、定期的清掃は多くの寺院で実施されています。今後の活動の充実と継続が望まれます。

また、アンケートにある各寺院の特徴ある活動を参考にしながら、各寺院に合った取り組みを工夫して実施してゆくことが期待されます。どうぞご参考になさってください。

Ⅱ. 婦人会として参加してみたい事

コロナ終息後、婦人会として参加してみたい事はどのようなことですか？

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
参加してみたいこと	絵本作り(宗務所で)	一日研修旅行	講演会・勉強会	観劇会(歌舞伎・芝居)	施設慰問(養護施設等)	写経・写仏	朗読会	コーラス(仏教賛歌等)	SDGsの誰にでもできる行動を話し合いポストイットして小さな一歩を踏み出す活動	SDGsに寄与できる活動(リサイクル・フードバンク)
寺院合計	19	14	12	6	5	4	2	2	2	1



- ・例年婦人会で活動している絵本づくりは希望が多いので、今後も継続していけるとよいと思われます。
- ・観劇・慰問・写経写仏などは、今後の活動としての検討課題です。
- ・SDGsに寄与できる活動は各寺院でも取り組み可能なので、各寺院に合った取り組みを考え、実践していくことが期待されます。

Ⅲ.「絵本を送る活動」神奈川第二宗務所 婦人会

例年、所をお借りして活動していましたが、今年度はコロナ禍のため、活動をするかしないかのアンケートをとったところ、予想以上に参加希望者が多かったため実施することになりました。

20ヶ寺に計143冊の絵本を送り、会員の皆さんのおかげで、11/25、シャンティに無事届けることができました。



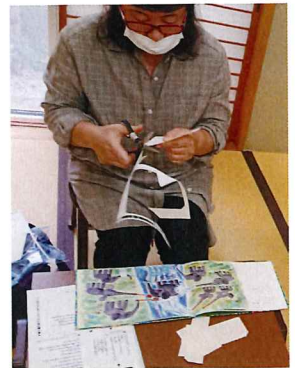
「相手の立場を思いやる」
絵本づくりの前のご法話が
とてもありがたかった



「布施＝絵本作り」
御住職の法話に耳を傾けた



本の名『パンダのびっくりプレゼント』
クメール語



こんなに真剣に
ハサミを使ったことが
あったかしら？



本の名『木』
ビルマ語

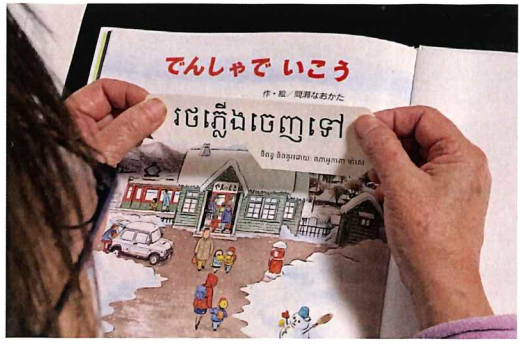


おしゃべりできなくても
会えて嬉しいね！



お孫さんと二人で参加…ピカチュウも一緒♪





クメール語
上下を間違えないように気を付けて…



ビルマ語
日本語の上にシールを貼ります



初めてめて見るビルマ語
読んでいる子どもたちを思い浮かべつつ



ハサミを持ってスタンバイOK! さあ作ろう!!

**楽しかった絵本づくり
それが誰かの役に立つなんて、とてもうれしい**



完成!! 10代~80代まで集合しました



猫も参加?!

<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて参加できた方も多く、実施してよかった。 ・コロナ禍で活動したことによって、久しぶりに会う機会ができて楽しかった。 ・例年行っているが、遠くからの参加ができずあきらめていた人が近くの寺院で活動できたことによって、より多くの人にこの活動を知っていただく機会になった。
--------------	---

第28回読売国際協力賞受賞 おめでとうございます!

アジア各地の厳しい環境で暮らす子どもに読書する機会を届けてきた公益社団法人シャンテイ国際ボランティア会が、第28回読売国際協力賞を受賞しました。

曹洞宗神奈川県第二宗務所詠範会
会長 山下 知子

梅花初心者 講習会 受講者募集

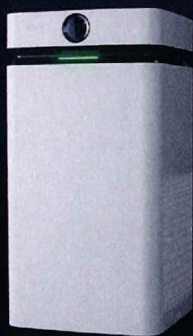
10月開講予定

寺族の方で
ご詠歌に興味のある方
ご詠歌をはじめてみたい方
以前習ったことがあるけれど、一から学び直したい方
少人数ではじめてみませんか？
まずはお気軽にお電話ください

連絡先 黙仙寺 阿部 敦子
電話番号 0467-46-2904



X8 Pro



本体サイズ (cm)
高さ76 × 奥行き38 × 幅38

X5s



本体サイズ (cm)
高さ65 × 奥行き31.6 × 幅30.6

浮遊ウイルスを**99.9%**除去^{※1}

※1 検査機関：Guangdong Detection Center of Microbiology
※2 一般的なウイルスの大きさです。

＜商品のお問い合わせ先＞
バッファロー・IT・ソリューションズ
〒100-6215 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号
パシフィックセンチュリープレイス丸の内15階
TEL：050-5491-2296 FAX：03-4213-1141



曹洞宗関東管区教化センター

曹洞宗のYouTube チャンネル



〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町3-6 東光寺内

TEL:048-648-5751 FAX:048-648-6120

E-mail: info@soto-kanto.net

ホームページ: http://www.soto-kanto.net/

YouTube チャンネル: https://youtu.be/fgIDI_wKf3E

法衣 京仏具 京仏壇

大本山  御用達

株式会社 松本屋

本社: 〒600-8035 京都市下京区寺町高辻角

TEL. 075-343-1200(代) FAX. 075-371-4080

http://www.matsumotoya.com /Eメール kyoto@matsumotoya.com



編集後記

連日テレビではロシアの侵攻により、ウクライナの惨状がリアルタイムで報道されます。また映画俳優のウィルス・スミスはアカデミー賞のスピーチで司会者に平手打ちをしました。

「鬼達は生きるために食べているだけ、育ててくれたママ達も生きるために私達を差し出すしかなかっただけ、1000年前この世界を作った人も鬼との戦争でこれ以上死ぬ人を見たくなかっただけ、私達だって他の命を殺して生きていくし、恐怖も苦しみも他人事ではない、それを弱さだって責めることなんて私は出来ない」「立場が違うから争って貶めて憎しみ合って、でもそれぞれの立場を差し引いたら・・・そうやって考えたら本当は皆憎しみ合わなくてもいんじゃないかな」
約束のネバーランド20巻より引用

この物語は、私たちが生きるために動物を繁殖するのと同じように、鬼が人間を食料とするために人間を養殖している社会があり、そのことに気がついた食用鬼がこの世界を変えたいと立ち上がり、目的は「勝利と、対話」として鬼、鬼と結託している人間と戦う物語です。

お釈迦様が説かれた輪廻転生を世界の人人が信じられるようになれば、お互いに他を尊重しあえるようになれます。仏教の教えは世界平和に繋がります。

対話がかみ合わなくても手を上げることなく対話し続けられる未来になることを日々願い、祈っています。

教化主事 加藤